



## 12誘導心電図伝送運用開始

大崎消防では、平成27年6月1日から急性冠症候群（急性心筋梗塞等）の早期発見・早期治療を目的とした12誘導心電図の伝送を大崎市民病院との間で開始しています。



イメージ図

12誘導心電図伝送とは、救急隊が急性冠症候群を疑う患者と接触した時点で、12誘導心電図検査を行い、医療機関に心電図データを送るシステムです。伝送により病院到着前から専門医による診断が可能となり、緊急治療の準備や医療スタッフの招集を事前に行うことで、発症から治療までの時間を短縮し重症化の軽減や救命率の向上に貢献することが期待されます。



イメージ図

救急隊の活動に皆様のご理解とご協力をお願いします。